

令和元年度第1回大船渡市地域安全推進協議会 議事録

1 開催日時及び場所

○日時 令和元年7月23日(火) 午前10時～11時30分

○場所 大船渡市防災観光交流センター 多目的室

2 委員数 20名

3 出席者

○委員 14名

- ・江 刺 由紀子 (気仙地区少年警察ボランティア協会)
- ・近 藤 均 (大船渡市防犯協会連合会)
- ・竹 野 武 子 (大船渡市民生児童委員協議会)
- ・木 下 美栄子 (大船渡地区人権擁護委員会)
- ・金 野 千代子 (大船渡市更生保護女性の会)
- ・寺 澤 貴 裕 (大船渡市小中学校長会)
- ・伊 藤 英 子 (気仙地区保護司会)
- ・菊 池 まゆみ (大船渡商工会議所)
- ・阿 部 なつ子 (大船渡市交通指導隊)
- ・木 内 孝 子 (大船渡市交通安全母の会連合会)
- ・大 野 則 幸 (大船渡警察署生活安全課)
- ・村 上 裕 樹 (大船渡警察署交通課)
- ・市 村 康 之 (大船渡市教育委員会事務局)

○事務局 (大船渡市生活福祉部市民環境課) 3名

市民環境課長 下田牧子、課長補佐 鈴木康代、係長 今野宏

4 議事の経過 (協議内容等)

(1) 開 会 鈴木課長補佐の司会により進行する。

(2) 会長挨拶 江刺会長より挨拶。

終了後、下田課長より、今年度新たに委員に委嘱された方々6名を紹介。

(3) 講 話

大船渡警察署交通課の村上課長と、生活安全課の大野課長が講師となり講話。

「市内における交通事故情勢等について」講師：村上課長 (資料2～3ページ)

○大船渡市では6月末時点で死亡事故が1件発生しているが、管内ともに物損事故が減少している。県内と同じ傾向で当市でも推移している状況である。県では7月に入って5件の死亡事故が発生しているが、うち2件は自転車、うち3件は歩行者の事故となっている。高齢歩行者の事故の特徴としては、「いつも通っているから大丈夫」「車が止まってくれるから大丈夫」という誤った判断から発生していると考えられる。運転者も歩行者も安全確認が必要である。

○自動車専用道路が宮古から宮城県まで繋がったことから、自専道は高速隊が管理

することとなり、交通量も増えている。その分、一般道を走る車両が少なくなり、スピードが出て事故も増加している可能性もある。

- 大船渡署管内の事故の傾向については、6月末時点で31件発生しているが、うち70歳以上の事故が9件と、全体の30%が高齢者の事故となっている。また、事故類型別では出会い頭の事故が11件と割合が高くなっている。踏み間違えによる事故について年齢別で見ると、29歳以下と70歳以上が多く、29歳以下のドライバーは運転経験が浅いが、リカバリーが可能なので大きな怪我には至っていない。しかし、70歳以上は、しっかりと確認ができず、重傷や死亡事故に繋がっている。
- 踏み間違えによる事故を防止するためにも、正しい運転姿勢を守って欲しい。(足に余裕を持たせ、おしりを座面と背もたれにしっかりとつけ、10時10分の状態でハンドルを握る)
- 岩手県警察では、令和元年度の取り組みとして、信号機のない横断歩道を重点として取締りを行っている。運転手は、横断しようとする歩行者がいるかどうか確認し、歩行者がいたら必ず止まること。歩行者は、3S運動(STOP止まる、SEE見る、STAY待つ)を徹底して欲しい。

「市内の特殊詐欺と少年犯罪等について」講師：大野課長(資料4～14ページ)

- 委員の皆様方には、今日聞いた内容を周囲の方々へ話して欲しい。講話には興味のある方しか来ないので、講話に来られない方やあまり興味のない人のために1つでも構わないので、伝えて欲しい。
- 市内での刑法犯総数は6月末時点で40件発生しており、うち万引きが7件、車上ねらいが3件発生している。犯人は必ずカギが空いているところを探す。玄関だけでなく、裏口、勝手口にもカギを掛ける習慣を付けて欲しい。
- 市内ではオートバイが盗まれる事件も発生しており、犯人は住所不定の外国人であった。市内にも復興工事関係等で色々なところから人が出入りしているので、警戒意識を高めて生活して欲しい。県内の侵入窃盗の住宅被害は6月末時点で56件発生しており、うち無施錠が50件(89.3%)で全国ワースト1位となっている。不名誉な記録である。カギ掛けの周知徹底をお願いしたい。
- ハガキや電話の架空請求は毎日のように発生している。特殊詐欺については、県内では、今年は減少傾向となっており、市内では6月末時点で1件発生しているが、現金の引き落としまでには至らず実害はなかった。犯行グループは今まで4号線沿線での発生が多かったが、最近では、沿岸にまで進出してきている。自己防御意識をもっと高めて欲しい。
- 7月に東海新報に掲載された1,750万円の特殊詐欺被害にあった80代女性は、複数の犯人から言葉巧みに騙されてしまい、お金を納めなければ逮捕されると信じ込まされている。犯人は女性が不安に陥ったところにつけ込み、多額の現金を要

求して、警戒が薄い無人のATMで現金を引き落とさせていた。

- 高齢者には詳しい話をしても混乱してしまうので、分かりやすいように、「電話でお金を要求、ATMを使え、現金を送れ、通帳やキャッシュカードを預かる、還付金がある。」は全て詐欺。「知らない人とは話をしないこと」などを話し、周りの方々へ伝えて欲しい。現金の受渡しは法律で認められているのは、「口座振込と現金書留」のみであり、それ以外は詐欺を疑って欲しい。
- 最近多い、「訴訟最終告知」のハガキが送られてくるケースがあるが、年金支給月の15日前に届くことがほとんど。このようなことも、近所の方等へ声掛けして欲しい。市役所とも連携し、緊急を要する場合は防災無線での被害防止広報の対策をとっている。
- 少年犯罪については、震災の影響や子どもの人数も減ってきていることもあり、件数は減少している。岩手県でも同様であるが、気仙地区においても少年非行の低年齢化が見受けられる。
- 犯罪行為までに至らないものの、最近では携帯電話（スマホ）等の利用によるトラブルが発生している。使い方やマナー等、保護者からルールを守ることが大事である。子どもの非行防止としては、大人が子どもと関わり続けることが重要。
- 子どもに対する声掛け事案に関しては、今のところ大きな事件は発生していないが、不審者等を発見したら、すぐに110番して欲しい。早期通報にご協力いただきたい。
- “声掛け”“カギ掛け”“ながら見守り”を促進して欲しい。地域全体で見守り活動を積極的に進めていければと思っている。

<質問意見等>

[江刺会長]

被害に合わないためには、側に相談できる人がいれば安心できると思う。家庭内でも普段から相談し合える関係づくりも必要ではないかと思う。市民の方が詐欺の電話の相談をしたい時は、まずどこへ連絡すればいいのか？

[大野課長]

交番や駐在所、警察署であれば生活安全課が窓口となっている。

[今野係長]

市役所内にある消費生活センターに直接連絡するか、市の総合案内（市民環境課）へ連絡して欲しい。

[下田課長]

市内で1,750万円の特種詐欺被害があったことから、市広報で注意喚起を行うこととしている。また、各地区防犯協会へも周知し地域での呼びかけもお願いしている。

(4) 協 議（防犯パトロールカードの作製・配布について）

ここから江刺会長が議長となり進行。

事務局の今野係長より、資料 15～16 ページにより説明。

[今野係長]

一昨年も実施しているが、昨年度の会議の中でも、もっと普及した方がよいとの意見があったことから、今年度も作製し、所属団体の皆様へ配布していただき、地域の防犯意識の高揚を図ることとしたい。各団体の配布枚数を変更したい場合は、事務局まで連絡いただきたい。

[江刺会長]

只今、事務局より説明がありましたが、防犯パトロールカードを作製し配布することですよろしいでしょうか。

～賛 成～

[江刺会長]

特に異議がなければ、事務局で作製し、委員の皆様へ配布しますので、所属団体の方々へ配布よろしくお願ひします。その他ございませんでしょうか。

[木下係長]

少年非行の低年齢化とのことであるが、万引きが発覚し、小学生（当事者）と店側で解決してしまつたら、学校側はどのようにしたらよいか。

[大野課長]

まず、万引きが発覚したらすぐに警察署へ連絡をいただきたい。学校側としての今後の方針を聞き取り、場合によっては児童相談所へ連絡することもある。解決後であれば、情報提供として連絡をいただければと思う。

[近藤委員]

防犯パトロールカード普及は大変良いこと。協会の方で持っていない人へ配布する。

[金野委員]

市内で、一人暮らしの女性宅に、「うちの旦那と浮気しているんじゃないか」と怒鳴り混んできた人があった。最終的には県の保健所職員が精神科へ連れて行ったようであるが、このような時はどこへ相談したら良いか。

また、この方とは別に下半身を露出した男性の目撃情報も話に聞いたことがあるが、この場合はどこに通報したら良いか。

[下田課長]

市役所であれば、婦人相談員等へ相談することになる。庁内外で連携して対応している。

[大野課長]

下半身の露出については、公然わいせつに該当すると思われるので、警察署へ通報して欲しい。

[阿部委員]

パトロールカードをつけている車を眺めるとホッとする。地域絡みで取り組み、もっと普及して欲しい。

[江刺会長]

市学校警察連絡協議会の中で出された意見等があれば情報提供をお願いしたい。

[木下係長]

夏休み前に生徒指導の先生を集めて、7月中に地域に分かれて街頭指導を行っている。市内の小学生では、スマホを持っている子どもが増えている。SNSやインターネットでの事件も考えられることから、学校でも注意していきたい。家庭や地域でも子どもの見守りをお願いしたい。

[寺澤委員]

校長会でも話題となったが、6年生児童を対象にスマホの調査をしたところ、必ず持っている児童がいる。そして、使ったことがない児童はほぼいないという結果であった。主に親子間の通信に使用しているが、動画やSNSの使用も多く、家庭内での十分な研修が必要と感じる。

[竹野委員]

私宛に「総合消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」のハガキが届いた。参考までに持ってきたので、皆さんにも見ていただきたい。同じようなハガキが届いた人で、詐欺と知らないで不安になっている人もいると思うので、市の広報等を活用して、被害防止をお願いしたい。今日はとても良い話だった。

[木内委員]

すごく良い話を聞いた。私の家の近くは、歩行者も車も多く、死亡事故も発生している危険な箇所なので、夏休み期間中も十分気をつけたいと思う。

(5) 情報交換

[今野係長]

資料 17 ページの市内小中高夏休み期間について紹介。その他特になし。

(6) その他

特になし。

(7) 閉 会

11 時 45 分閉会。